

くしろ 市議会だより

お伝え
します

市議会
のこと

平成 25年8月1日

2013 8 AUG.

No.35

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議事事務局)

TEL 31-4581 FAX 23-7679

✉ メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html

(次回の9月定例会は、9月11日(水)午前10時
から開会の予定です。)

議会日程

6/6

議会運営委員会
石炭対策特別委員会

6月定例会(会期13日間)

6/12

市政報告
提案説明
質疑・一般質問

6/13、14

質疑・一般質問

6/17~19、21

常任委員会審査

6/21

議会広報特別委員会

6/24

常任委員会採決
委員長報告
本会議採決

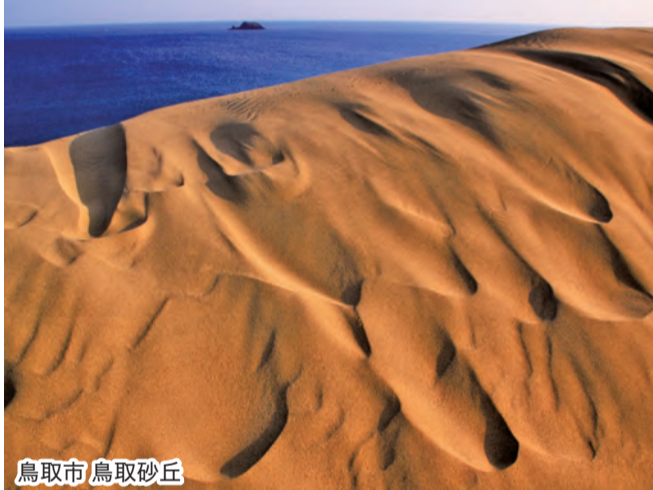
今年、釧路市と湯沢市、鳥取市が姉妹都市提携を結んで50周年の年になります。湯沢市、鳥取市の自然風景とお祭りの様子を、紹介します。



鳥取市 しゃんしゃん祭



湯沢市 川原毛地獄



鳥取市 鳥取砂丘



湯沢市 七夕絵どうろまつり

6月定例会の概要 一問一答による一般質問が定着

釧路市議会25年第3回6月定例会は6月12日(水)招集され、6月24日(月)までの日程で開催しました。
今定例会には、市長から25年度釧路市一般会計補正予算など18件の議案が提出され、本会議並びに各常任委員会において審議・議決しました。

本会議における一般質問では16人の議員が登壇し、防災対策、公営住宅整備、スポーツ施設整備、社会資本整備、産業振興、空きビル対策などについて質問があり、議論が交わされました。(2・3面参照)
釧路市議会では、23年6月定例会より議会改革の一環として、本会議における一般質問の方式を、より分かりやすくし、議論を深めるため、一括方式と一問一答方式を選択できるようにいたしました。スタートして丸2年が過ぎ、現在では一問一答方式による質問がすっかり定着しており、全議員が選択しています。

議会広報特別委員会 今年度の議会報告会について協議

会期中の6月21日に、改選後初めての議会広報特別委員会を開きました。

議題は、議会だより第35号の内容確認、併せて25年度の議会報告会の開催内容などを協議いたしました。また、より多くの市民の皆様へ報告の活動内容などをお知らせするために、インターネットを活用した広報のあり方についても話し合いをいたしました。今後とも市民の皆様により分かりやすく議会活動をお知らせできるよう努めてまいります。

(ここまでの文責・議会広報特別委員長 松橋尚文)

姉妹都市提携50周年記念事業 公式訪問に参加します。

市議会では、黒木満議長、月田光明副議長をはじめ、姉妹都市等交流促進議員連盟派遣議員が記念訪問事業に参加することを決定しました。
9月25日から27日の日程で、同連盟会長上口智也議員ほか4名が湯沢市を、10月17日から20日の日程で、同連盟理事長統木敏博議員ほか3名が鳥取市を、それぞれ議長・副議長と共に公式訪問する予定です。

会派略称説明

自民ク 自民クラブ

市民連 市民連合議員団

公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団

自新ク 自由新政クラブ

市政ク 市政クラブ

政進会 政進会

本会議 質疑・一般質問

今定例会では、6月12日から3日間にわたり、16人の議員により質疑・一般質問が行われました。今回も質問者全員が一問一答方式を選択しました。

その中から主な質問と答弁をお知らせします。(質問順に掲載)



自民ク 山口 光信議員

問 釧路の魅力幅広くアピールするため、関係団体と連携し、市の有力な応援団としての観光大使を設置して、さらなる観光振興に努めるべきと考えるが見解を聞きたい。

答 高速道路の延伸、大型船寄港の増加、航空路線就航など交通アクセスの充実により観光客誘致に弾みがついているこの好機をとらえ、市の観光・物産の魅力をPRし、イメージアップを図るため、観光大使設置に向け前向きに検討していきたい。



市民連 松尾 和仁議員

問 釧路市民球場の大規模改修について、プロ野球公式戦開催に対する市民の大きな期待に応えるような施設改修を行うべきではないか。

答 同球場の改修事業は、都市公園内施設の改修等を行う国の補助制度を活用し、現有施設の機能維持と長寿命化、安全性の向上を目的として行

うものであるが、25年度に行う実施設計においても球団からの要望をどこまで反映できるか、さらに検討していきたい。



公明 上口 智也議員

問 北大通を中心に点在する老朽化した空きビルの崩落対策に関し、第一の責任はビル所有者にあるものの、対策には多額の費用を要するため、市として、危険な壁面に張る防護ネット費用の無利子貸付制度の創設を提案するが、見解を聞きたい。

答 市が個人の財産に対し公費により対応することには、慎重な検討が必要と考えるが、融資制度については今後研究していきたい。



自新ク 森 豊議員

問 国における「骨太方針」に盛り込まれている地方財政への対応に関し、特別加算の廃止について市の見解を示してほしい。

答 骨太方針には、地方財政はリーマンショック後の危機対応モードから、平時モードへの切替えを進めていく必要があると記載されているが、現在の地方交付税の総額については、特別枠が加算されても16年度の地財ショック以前の水準以下であることから、特別枠の削減は容認できない。



市政ク 土岐 政人議員

問 避難路として活用される重要な道路である大楽毛駅前通は、現在ゲ

トで封鎖されている状態であり、既存の道路とつなげることで、避難がしやすくなるとの地域要望もあるが、将来構想について聞きたい。

答 同通は、大楽毛地区住民の避難路として検討されており、ゲートは、関係機関と協議し撤去することとしている。また、どのようなルートで既存の道路とつなげるかについては、今後調査していきたい。



政進会 鶴間 秀典議員

問 災害廃棄物を域内で処理し、復興につなげる形とするため、廃棄物処理事業者との災害廃棄物域内処理協定を結ぶべきではないか。

答 市における災害廃棄物の処理対応については、地域防災計画中の清掃計画に概要が示されているが、今後、大規模災害も想定した計画の見直しを考えていかなければならないと認識しており、その中で廃棄物処理業者との協力関係についても検討していきたいと考えている。



共産党 石川 明美議員

問 市内の障がい者向けグループホーム、ケアホームにおけるスプリングラー設置の現状と今後の設置に向けた取り組みについて聞きたい。

答 設置義務のある事業所3カ所はすでに設置済みであり、設置義務のない事業所62カ所中、設置されているのは1カ所である。今後、未設置の事業所に対しては、国の補助金等を活用し整備するよう働きかけていくとともに、障がい者自立支援協議会の中でも

必要性を訴えていきたい。



自民ク 三木 均議員

問 市の建物、道路、橋梁や上下水道などの社会資本は、主に昭和40年代後半から50年代後半にかけて整備されたため、今後、集中的に更新期を迎えることになるが、その対策についてどう考えているか。

答 釧路市公共施設等見直し指針により、施設の長寿命化や更新費用の平準化を図るとともに、公園、道路などの分野ごとに耐用年数に応じた長寿命化計画などを策定し、施設の延命化を進め、大規模改修の時期が集中しないよう調整してきている。



市民連 大島 毅議員

問 道教育委員会が生徒、保護者、教職員などを対象に実施した「体罰に関するアンケート」によって75件の体罰が明らかになったが、この調査における、市内の小中学校での体罰は何件あったのか。

答 2月定例会で報告した体罰事故1件のあと、この調査とは関わりなく1件の報告があり、そして今回の道教育委員会の調査により判明したものが3件となっている。



自新ク 戸田 悟議員

問 釧路港の漁獲取扱金額が100億円を割り、2年間で25億円の減収結果になっても、市として前面に出る方針及び施策がない。市場間競争に打

ち勝ち、水産都市釧路の振興を図るための転換例として、市と業界が出資して市場を持ち株会社化し、将来に向かう食料基地の役割を果たす環境に導くべきと考えるがどうか。

答 厳しい現実には理解するが、方向性を定めるのは業界側であり、市としては要望があれば応じて検討する。



共産党 梅津 則行議員

問 「子ども子育て会議」には多くの保護者の意見を集めることが重要である。20人の委員のうち半数程度を保護者とすることを提案するが、見解を聞きたい。

答 国が示す同会議のメンバー構成としては、保護者、事業主代表、労働者代表、子ども・子育て支援に関する事業の従事者、学識経験者など幅広い関係者でバランスよく組織するとされているが、会議設置に向け、議員の提案を含め検討していきたい。



自民ク 続木 敏博議員

問 釧路駅周辺の再整備に関し、市長は、取り組み時期についてこれまでさまざまな議会答弁をしているが、「25年度から本格的検討に入り、27年度には方針を発表する」という認識でよいか示してほしい。

答 25年度は、庁内や道との勉強会を中心に防災の視点や市の負担軽減についての検討を進め、財政健全化における集中取組期間が終了する27年度までには、事業の方向性を定めていきたい。

※1 骨太方針とは、現政権が進める財政・経済政策の基本方針のこと。
※2 地財ショックとは、15年12月に総務省が示した地方財政計画により、翌16年度の地方交付税が大幅に削減されたこと。
※3 子ども・子育て会議とは、子育て支援に関する政策等を検討する会議のこと。



市民連 富田 回議員

問 学校給食食材の放射性物質検査に関して、食物連鎖による濃縮の可能性が高く、また回遊により産地の確定が難しい魚介類を、産地にかかわらず対象に加えるべきと考えるが見解を聞きたい。

答 学校給食で使用される魚介類は、地産地消推進の観点から、釧路産または道内産としているが、道が行う水産物の放射性物質モニタリングで安全性が確認されていることから、市独自の測定は考えていない。



共産党 村上 和繁議員

問 市営鳥取団地の建て替え計画に関して、新たに建設する2棟のうち1棟目は津波避難施設として活用するため建設を急いでほしいが、2棟目は入居者の利便性を考慮し現在地での建て替えを検討できないか。

答 現在の敷地に建設する場合、建物の北側に陰ができるなど日照権の問題等もあり、すべての住宅を取り壊さなければ新しい住宅を建てることのできないため、現在地より南側に2棟建設する計画としている。



自民党 草島 守之議員

問 釧路空港ビル株式会社では、歌手・山内恵介さんが歌う「釧路空港」を積極的にPRしているが、市民へのアピールが足りないと感じる。市全体の関わりとして、現在の動向と今後の取り組み予定を聞きたい。

答 市でも、市役所本庁舎での放送や、公共施設でのポスター掲示など、積極的なPRに努めており、今後とも「釧路空港」が息の長いヒット曲となるよう、さまざまな機会を捉えた取り組みを進めていきたい。



市民連 渡辺 慶藏議員

問 特定貨物輸入拠点港湾は、国際バルク戦略港湾に選定されている港湾の中から指定されるのか。また指定を視野に入れた市の港湾計画変更の必要はあるか。

答 特定貨物輸入拠点港湾が国際バルク戦略港湾の中から指定されるとは聞いていない。現在の釧路港の港湾計画は、港湾法の改正に則ったもので、有利な位置にあり、今後定められる国土交通省令を満たせば、指定の可能性は高いと考えている。

委員会審査 3常任委 1特別委

総務文教常任委員会

菅野 猛委員長

生涯学習部の審査において、「新図書館の整備について、庁内検討委員会は、25年度中に一定の考え方を示すということだが、具体的にはどのようなスケジュールになっているのか。また、25年度中に同委員会を何回

開催する予定なのか。」との質問がありました。

理事者は、「庁内検討委員会では、25年度中に、改築する場所や整備手法などの検討を行い、26年度には、市民の意見を聞きながら、一定の考え方に基づいた議論ができるようにしたい。また、開催回数も、担当者レベルでの作業部会も含めて、月に1回ほどを予定している。」と答えました。

問 総務部の審査において、「津波避難計画の素案が示されたが、津波に関する市民の最大の関心は、津波発生時の避難場所と、そこへ至る経路である。地域ごとに具体的な説明が必要なのではないか。」との質問がありました。

理事者は、「地域ごとの避難場所が分かるものとして、津波ハザードマップを8月中旬に全戸配布する予定である。市民への説明については、連合町内会単位の説明会や出前講座の場で、市民自らがどう避難したら良いかを想定できるように、きめ細やかな対応をしていきたい。」と答えました。

経済建設常任委員会

畑中 優周委員長

都市整備部の審査において、「美原インターチェンジの整備に伴い、柳橋通の2車線部分の拡幅は検討するのか。」との質問がありました。

理事者は、「道の都市交通マスタープランで4車線化を検討するとしているほか、防災上の観点からも、同インターチェンジが釧路外環状道路へ通じる避難路となり得ることから、インターチェンジ完成予定の27年度

からの事業化に向け検討したい。」と答えました。

問 産業振興部の審査において、「アイヌシアターは、市の観光戦略の中で重要と位置づける阿寒湖温泉地区の施設であると同時に、アイヌ文化を発信する基地としての役割があるが、観光戦略とあわせ、市としてどのように取り組んでいくのか。」との質問がありました。

市長は、「阿寒湖温泉地区のPRでは、世界自然遺産登録を目指す「マリモ」と、「アイヌ文化」を組み合わせ、効果的なPRとなるような取り組みを進めているほか、各種要請活動も行ってきた。こういった取り組みの中で阿寒湖温泉地区の観光客が増加し、アイヌシアターの利用者も増えるといったトータルな効果を生み出すよう努力していきたい。」と答えました。

民生福祉常任委員会

秋田 慎一委員長

市立病院の審査において、「病院の増改築に関し、増築によって駐車場のスペースが減ると考えるが、現在の駐車台数を確保することができるのか。」との質問がありました。

理事者は、「現在の駐車可能台数は473台であり、増改築によって、タクシーレーン側の駐車スペースが100台ほど減少することになる。これを補うため、第2駐車場の奥側に同程度駐車できる簡易型の立体駐車場の建設を計画しているところである。」と答えました。

次に、「新生児のタスクスクリーニングが受けられるようになって1年になるが、市立釧路総合病院での実施状況を聞きたい。また、検査の結果、障がい認められた事例はあったのか。」との質問がありました。

理事者は、「当院では、24年4月からタスクスクリーニングが受けられるようになり、24年度においては、新生児797名全員の検査が実施されたところである。この検査は、1回目で疑わしいと判定された場合、再検査を行い、さらに精密検査を行って病気が確定するもので、当院における再検査の事例はあったが、病気が判定された事例はなかった。」と答えました。

石炭対策特別委員会

土岐 政人委員長

産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業に関し、「24年度から3年を目途として実施しているが、27年度以降の事業継続に向けた取り組みを始めたのか。」との質問がありました。

理事者は、「海外における石炭採掘・保安技術の向上に貢献することにより安定的な石炭供給を受ける目的で実施しているもので、27年度以降も必要な事業であり、釧路コールマインや道との打ち合わせは開始している。」と答えました。

また、新産業創造等事業基金に関し、「地域振興を目的に基金を取り崩して事業を実施しているが、実施後の効果の検証も必要ではないか。」との質問がありました。

理事者は、「今後、検証の方法も含めて検討したい。」と答えました。

平成25年 第3回 6月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(同意・承認)となったもの(25件)

市長提出議案			
予算	平成25年度一般会計補正予算	条例	下水道事業受益者負担金条例及び下水道事業受益者分担金条例の一部を改正する条例
	平成25年度介護保険特別会計補正予算		火災予防条例の一部を改正する条例
	平成25年度動物園事業特別会計補正予算	市道	市道路線の認定及び廃止の件
	平成25年度一般会計補正予算(議案第85号)		フィッシャーマンズワーフ避難施設整備建築主体工事
条例	子ども・子育て会議条例	契約	阿寒町行政センター耐震改修建築主体工事
	恩給条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例		(仮称)中央消防署新愛国支署・新設分団庁舎建築主体工事
	税条例の一部を改正する条例		釧路港港湾区域内公有水面埋立ての件
	生活館等条例の一部を改正する条例	その他	固定資産評価員の選任について同意を求める件
	廃棄物の減量及び処理等に関する条例の一部を改正する条例		税条例及び都市計画税条例の一部を改正する条例
	市営住宅条例の一部を改正する条例	専決処分	負傷事故損害賠償額の決定等
議員提出議案			
意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか5大臣)		
	矢臼別演習場における米軍の砲撃事故に関する意見書(提出先:内閣総理大臣ほか1大臣)		
議長付議案			
互選	釧路公立大学事務組合議会補欠議員互選の件		
	釧路白糠工業用水道企業団議会補欠議員互選の件		
	釧路広域連合議会補欠議員互選の件		

◎ 賛否が分かれたもの(1件)

○賛成 ×反対

議員提出議案									
件名	会派名[()内は議員数]※	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)	審議結果
意見書	「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書 (提出先:北海道知事、北海道教育委員会委員長)	○	○	○	○	○	×	×	可決

◎ 請願・陳情(2件)

(1) 審査が終了したもの

○採択 ×不採択

件名	会派名[()内は議員数]※	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)	審議結果
陳情	札幌航空交通管制部の存続・充実を求める意見書の件	×	○	×	○	×	×	×	不採択

(2) 継続審査となったもの

件名	提出年月日	付託委員会
陳情	公契約法の制定を求める意見書の件	平成24年3月7日 総務文教常任委員会

※自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。

永年在職議員表彰

全国市議会議長会から次の議員が表彰され、6月定例会開会に先立ち、議長から3人の議員に表彰状が伝達されました。

◆議員在職15年以上

黒木 満 議長
続木 敏博 議員
戸田 悟 議員
石川 明美 議員

組合議会議員(議席番号順)

6月定例会で、各組合議会議員の辞任に伴い、補欠議員の互選が行われました。選ばれた議員は次のとおりです。

釧路広域連合議会議員(5人)
山口 光信・畑中 優周
大島 毅・宮田 団
石川 明美
釧路公立大学事務組合議会議員(3人)
戸田 悟・松永 征明
大島 毅
釧路白糠工業用水道企業団議会議員(1人)
畑中 優周

「林活議連」総会を開催

釧路市議会森林・林業・林産業活性化推進議員連盟(略称「林活議連」)の定期総会が6月24日、本会議場で開催され、24年度事業報告や決算報告、25年度活動計画案や予算案などが承認されました。

政務調査費について
お知らせ

政務調査費は、議員の政策形成能力や審議機能を強化することを目的に、会派に対して交付しています。(1人月額4万円)

市議会では、24年度交付分の政務調査費に係る収支報告書と出張報告書を、市議会ホームページと市役所1階の市政情報コーナーで公開していますので、ご覧ください。

会派名	交付額(円)	実績額(円)	返還額(円)	執行率(%)
自民クラブ(7)	3,360,000	2,740,278	619,722	81.56
市民連合議員団(6)	2,880,000	2,878,837	1,163	99.96
公明党議員団(4)	1,920,000	1,586,014	333,986	82.60
日本共産党議員団(3)	1,440,000	1,364,611	75,389	94.76
自由新政クラブ(3)	1,440,000	1,013,325	426,675	70.37
市政クラブ(3)	1,160,000	934,161	225,839	80.53
政進会(2)	960,000	960,000	0	100.00
合計	13,160,000	11,477,226	1,682,774	87.21

※()内は会派議員数。市政クラブは、10月まで2名分、11月から3名分が交付されています。